

2009.9.15

対アフリカ科学技術外交戦略を考えるために

武内進一 (JICA 研究所)

はじめに

- 私の来歴
 - 「アフリカ」の中味：南アフリカ、北アフリカ諸国、サハラ以南アフリカ諸国
 - 政治・経済・社会状況：「脆弱国家」 **fragile states**
 貧困、紛争の蔓延
 国際社会の課題としての「アフリカ開発」（経済開発、国家建設）
1. アフリカにおける科学技術の現状と科学技術政策上の重要課題
 - 高等教育機関の危機（予算、人材、技術）
 - 先進国の援助機関、大学からの支援・共同研究に依存
 - マクロな政治状況に依存（人事、方針）
 2. アフリカと日本
 - 「アフリカ問題」の国際社会における注目度（対先進国外交上の意味）
 - 日本との距離：なお遠いが、急速な変化：援助、外交（TICAD）
 - 技術先進国としての信頼は厚い。
 - 日本のアフリカ研究
 『アフリカ研究』（日本アフリカ学会学会誌）に研究レビューが掲載された分野
 言語学、文学、歴史学、経済学、国際政治学、政治学、社会学、文化人類学、生態人類学、開発研究、ジェンダー研究、人文地理学、自然地理学、農学、自然保護、霊長類学、化石霊長類学、考古学、医学、地球科学、地震・火山観測研究、魚類学
 3. 将来展望
 - 外交上の位置づけ
 対アフリカ諸国＋対先進国・対アジア諸国
 - アフリカに対する市場ニーズ
 資源供給地：鉱物資源、有用作物
 市場としてのアフリカ
 4. 国際協力ニーズと科学技術外交
 - コンゴ民主共和国（旧ザイール）の実験用原子炉
 - 「科学技術外交」の重要性

